



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となれればと願っております。

## 取材先

## 藪塚地区「藪塚本町グラウンド・ゴルフ協会」



藪塚本町グラウンド・ゴルフ協会は、平成5年4月に設立し、今年で29年目。

愉快地に、和やかに、楽しくの頭文字をとって「愉和楽（ゆわらく）」を基本理念として活動しています。練習は週3回（月、水、金）で32ホールを2時間程で回ります。

コロナ禍でもグラウンドが使える時は、活動を継続していました。

会員のみなさんは体を動かしながら笑い声や冗談が絶えない、楽しい雰囲気です。グラウンド・ゴルフ協会は、行事がたくさんあります。コロナ禍で中止をしているものもありましたが、太田市総体、太田市グラウンド・ゴルフ協会、各種企業主催の大会や藪塚地区など各種大会に選手を派遣したり、1%まちづくり事業を利用して、会員の方々の特技や経験を生かしながら休憩所、椅子、用品入れを作製したり、花壇の整備を行っています。

また、競技や事業の日程表、報告、当番などが書かれた愉和楽通信を役員さんで毎月発行しています。たくさんの行事があることや会員さんに役割があることで高齢者の活躍の機会にもなっています。

会長である森村幸雄（もりむら ゆきお 78歳）さんは、「お金もかからず、健康的な集まりだから会員のみなさんにはとっても良い居場所になっている。」と話し、「普段の練習も大会形式で行い、年間スコアで順位付けをし、表彰をしている。年間のお休みが12日以内の人には精勤賞が贈られるので出席率も良いんだよ。」と教えてくれました。

表彰があることで、積極的に外出する機会になっており、会員にとってグラウンド・ゴルフが社会参加の場にもなっています。



もりむら ゆきお

森村幸雄さん  
78歳

# 地域のお宝発見♥ ～太田市生活支援体制整備事業～

## 会員さんにお話を伺ってみました！



田島新一（たじま しんいち）さん 91歳

デイサービスやヘルパーを使わずに1人暮らしをされています。グラウンド・ゴルフを始めて20年以上たち、今では健康の秘訣になっています。田島さんの隣には同じく1人暮らしの90才のいとこが住んでおり、顔を見に行ったり、普段から声を掛けて元気かどうかを確認しています。

田んぼと畑をもっており、多くできた分はご家族やお隣さん、お友達に配ります。「みんなが喜んでくれるのが嬉しいから。」と田島さんは話します。



那須孝一（なす こういち）さん 91歳

那須さんもデイサービスやヘルパーを使わずに暮らしています。グラウンド・ゴルフの指導員2級の資格を継続して更新しています。

**プレー中、小走りでボールに駆け寄る姿を何度も見かける程元気！**

元気の秘訣は「よく寝る、食事は腹8分目でよく噛んで食べること」です。週3回のグラウンド・ゴルフの他にも週1回プールに通い400～500m泳いでいます。



川俣真澄（かわまた ますみ）さん 86歳

川俣洋子（かわまた ようこ）さん

ご夫婦でグラウンド・ゴルフに参加しています。

真澄さんは、「藪塚では、老人会が解散している地区も多く、このような高齢者の集まりの場は大切。」と感じています。

洋子さんは、グラウンド・ゴルフに参加するようになってからひざの調子がよくなりました。



男性陣も多く参加しています！ 休憩場所も会員さんの手作りです 花壇の管理も行っています

## チェックポイント

- 会員さんの特技や経験を生かし、休憩場所やベンチ、道具入れの作製を行うことで高齢の方の活躍の機会になっています。
- 体を動かして、コミュニケーションをとることで健康増進につながります。
- グラウンド・ゴルフに参加することで規則正しい生活を送ることができます。



お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ  
太田市社会福祉協議会 地域福祉係  
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549  
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229